

図書館の一層の利用を



香川大学附属図書館長

大 藪 和 雄

「大学は、学生に専門の学芸を教授するとともに、幅広い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する教育を行うことを使命としています。」香川大学教養教育修学案内（平成8年度）の最初の言葉がこのようになっています。今年4月に新たに入学された皆さんに大学の最大の目的を知っていただき、それを達成するのは、皆さん自身の努力であることを自覚していただきたいと思います。香川大学図書館はそれを支援できればと考えています。ぜひ、いろいろご希望をおよせ下さい。

大学4年間にやってほしいことは、第1に、感動することです。いろいろな文学作品にふれて、「こんなことがあったのか」とか、「人生とはこんなものなのか」とか、自分自身を見つめてみて下さい。第2に、現代の世界や日本の最重要問題を把握することです。自分なりに、最も大事にしなければならないのは何なのか、最も価値のあるものは何なのかを考えてみて下さい。第3に自分自身の専門を一つ持つことです。何かある一つのテーマを中心に充分研究してみることです。そのことに関しては「ちょっと友人には負けないぞ」といった自負ができるほどに時間をかけてみることです。これらのことを達成するため、ぜひ図書館に足を運んで下さい。閲覧室のどこかに自分の席を確保してみてください。

平成8年3月に香川大学附属図書館委員会・同自己評価委員会から『附属図書館の整備計画について』という報告書が出されています。これをみると、附属図書館の現状点検がなされ、整備を要する

事項が整理されています。われわれとしては、この自己点検・評価をもとに今後の整備計画を具体化していかねばなりません。しかし問題点は多いにも拘らず、第1に、平成7年4月に図書館中央館の増改築が達成され、閲覧環境の整備が充分なされています。第2に、時間外開館を授業期の平日20時までと土曜12時半まで行っています。第3に、わが図書館は蔵書約70万冊を保有し、分館と中央館は有機的につながっており、もし、図書や雑誌が学内にない場合には、所在調査をして、他大学等の図書館を直接利用したり、相互貸借制度により他大学等の図書館から図書を借用したり、論文のコピーを取り寄せることが出来ます。現在の図書館スタッフは、図書館利用者の皆さんのために誠心誠意努力してくれています。図書館は、利用してこそ価値が高まるものです。どうか、ますますのご利用をお願いします。

